

【平成19年12月21日】

平成19年7月16日発生  
新潟県中越沖地震

被災外国人に対する支援の状況

新潟県国際課

# 1 被害の状況

新潟県災害対策本部  
平成19年12月14日現在

区分	人的被害(人)		住家被害(棟)			
	死者	重軽傷者	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
新潟県計	15	2,315	1,319	857	4,764	34,659
(参考)中越大震災 (H 19.8.23現在)	68	4,795	3,175	2,166	11,642	103,854



倒壊した家屋

## 2 柏崎市内避難所における外国人避難状況

	7/16	7/18	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/31	8/8	8/15
<b>避難者数</b>	98	107	46	62	57	41	43	34	10	2	0
<b>注1</b>	12%	13%	5%	7%	7%	5%	5%	4%	1%	0.2%	0%

注1は、避難者/柏崎市内外国人登録者数の割合 %

柏崎市内外国人人数(平成19年7月末) 人口比 0.90%(県平均 0.58%)

総計	アジア						ヨーロッパ	北米	南米	その他
		中国	韓国朝鮮	フィリピン	タイ	その他				
844	799	437	69	145	91	37	12	13	23	17

## 3 支援体制づくり

### (1) 被災状況の把握

### (2) 支援方針の決定

多言語チラシ配布

FM放送

ボランティアによる避難所の巡回

### (3) 役割分担

- 柏崎市、柏崎地域国際化協会：報道対応
- 県国際課：支援活動総括、FM放送
- 県国際交流協会：翻訳、県内ボランティア派遣
- 長岡市国際交流課、長岡市国際交流センター、JICA長岡デスク：  
現地全体とりまとめ、現地ボランティアコーディネート
- 多文化共生センター大阪：県外翻訳団体及びボランティア連絡・調整

## 4-1 支援体制(発生～2日目)

日	支 援 体 制	備 考
7/16	<p>10:13ころ 地震発生(M6.8、震度6強～柏崎市ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市、協会:安否確認(携帯メール)</li> <li>・長岡市国際交流センター:被災状況調査(オートバイ)</li> <li>・県:地震情報をホームページで発信(英語) 外国人問い合わせ窓口設置(英、中、ハングル、露) チラシ(英、中、ハングル、露)を避難所へFAX送付</li> <li>・県協会:ボランティア派遣待機、相談窓口(既設)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市災対本部設置</li> <li>・県現地対策本部設置(8/10撤収)</li> </ul>
17	<p>現地及び長岡市で関係者が打合せし、<b>支援方針( 1 )</b> <b>と役割分担を決定</b></p> <p><b>FMによる多言語放送開始</b></p>	<p>1</p> <p>県の総括の下で関係 団体が協働して支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア.多言語チラシ配付</li> <li>イ.FM放送</li> <li>ウ.ボランティア派遣</li> </ul>

## 4 - 2 支援体制(3日目～2週間)

日	支援体制	備考
7 / 18	市民プラザ内に「柏崎災害多言語支援センター」設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中越大震災の資料の持ち込み</li> <li>・配付ラジオの準備</li> <li>・翻訳依頼団体の調整</li> </ul> ボランティアの参加	電気復旧
19	<b>避難所巡回開始</b>	
22-31	外国語新聞配布(英字)	7/26 仮設入居受付開始
31	センター閉所(市協会・市・県・県協会に引き継ぐ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフラインがほぼ復旧し、避難所巡回の必要性が希薄になった(余震も少なくなった)</li> <li>・翻訳は県協会が引続き担当</li> </ul>	7/31 水道はほぼ全域で復旧(8/4完全復旧) 8/ 1 市の被災者相談所開設
8 / 3	FMによる多言語放送終了	8/13 仮設入居開始
15		8/27 ガス全面復旧 8/31 避難所解消

## 5 配付チラシ・FM放送

	掲示・配付チラシ	F M 放送
言語の種類	英・中・ハンゲル タガログ・タイ 露(途中で中止) 日本語	(当初:中、やさしい日本語のみ) 英・中・ハンゲル タガログ・タイ やさしい日本語
主な提供情報 (時間の経過により変化)	地震情報・被害状況・支援センターの周知 入管特別措置 ライフライン(電気、ガス、水道、交通) 生活情報(ゴミ収集、入浴時間、保育相談、食中毒・熱中症) 証明等(建物危険度判定、罹災証明、仮設住宅申請) 放射能監視情報	
その他		旧西山町区域を臨時に認可を得て放送

## 6-1 柏崎災害多言語支援センターの設置

<p>目 的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の提供</li> <li>・災害状況・ニーズの把握</li> <li>・個別ケア</li> </ul>
<p>具 体 的 業 務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の巡回</li> <li>・企業・大学・外国人店舗の訪問</li> <li>・チラシ作成配付、FM放送原稿作成</li> <li>・緊急物資配付</li> <li>・相談</li> </ul>
<p>組織体制</p>	<p>現地ボランティアコーディネータ 1～2人</p> <p>相談員 1～3人</p> <p>巡回員 ピーク時15人程度</p> <p>提供情報原稿作成・記録 2～3人</p> <p>柏崎市・市協会 1～2人</p> <p>その他 2～3人</p>



## 6 - 2 センターの1日のスケジュール

- 9:00 朝ミーティング
- 11:00 翻訳依頼情報の選別と原稿作成  
(随時) 緊急情報の翻訳  
新ボランティアに対するブリーフィング
- 15:00 ~ 巡回前ミーティング
- 16:30 ~ 巡回  
巡回レポート作成
- 21:00 夜ミーティング

(支援センターのミーティング)



## 6 - 3 避難所等の巡回

内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報提供と収集(チラシ配付、玄関等貼付・張り替え)</li><li>・被災者のニーズ把握・ケア</li><li>・物資配付</li></ul>
聞き取り 項目 (個人カルテ)	<ul style="list-style-type: none"><li>・国籍 ・氏名 ・年齢 ・仕事先 ・家族</li><li>・居住地 ・言語(レベル) ・避難先履歴</li><li>・知合いの状況</li><li>・困っていること(例。妊娠中、おむつ欲しい)</li></ul>
人員体制	相談員、巡回員(3~4名)
巡回員服装	ガムテープを貼付(名前、可能言語明記)
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・深く立ち入らず、相手が話してくるのを待つ</li><li>・母語による会話</li><li>・マスコミの立会いは控える</li></ul>

## 7 評価 課題

- 広域的な支援体制の構築
- マニュアルの整備
- 人材の育成・登録
- 「災害時多言語情報作成ツール」の活用訓練
- 在住外国人との信頼関係の確立と所在確認